

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人インターナショナル
活動テーマ	災害時非常食のアレルゲン情報データベース構築と対応訓練ワークショップ



本事業は、災害発生時に食物アレルギーなどにより食べられないものがある被災者が安心して非常食を食べられる状態をつくること、また食物アレルギーなどがある被災者に向けてどのような対応が必要かを理解している人材をつくることを目的に、アレルゲンを含む非常食の原材料情報データベースの構築と、非常食の原材料表示の見方とアレルギー罹患者などへの対応力向上を図るワークショップの開催を通して、食物アレルギーなどがある人の日頃からの災害に備えた食べられる非常食の備蓄促進と災害発生時に協力しあえる共助関係づくりに取り組みました。

具体的には、神戸市（行政）・コープこうべ（小売）の協力と、尾西食品・河本総合防災・杉田エース・宝食品（非常食メーカー）の協賛を得て、アレルギー罹患者 8 名を含む公募参加者 33 名と報道関係者など 40 名でワークショップを実施し、アレルゲン不使用の非常食を中心に 28 品目の調査を実施。Code for Kobe（シビックテック）の協力を得て、その結果をデータベースとして公開しました。

<https://www.designtodiversity.com/emergencyfood>

次年度に向けては敷居が高い「非常食」という枠組みに囚われすぎず、家庭でも日頃から備蓄しやすいレトルト食品や缶詰などの保存食にも調査対象を拡大し、継続的な防災啓発ワークショップの開催と、非常食の原材料データベースのコンテンツ充実を図って参ります。